

# 長野県 1人1台端末導入ガイドライン

<概要版>



長野県教育委員会学びの改革支援課  
長野県ICT教育推進センター

## GIGAスクール 困ったときどうする？ Q&A ～困った問題を解決した先行事例の工夫より～



Q 「はじめてのパスワード」について困っています

- ①低学年での入力が難しく、時間がかかります
- ②パスワードを友達に教えてしまう、友達のパスワードを知ろうとする、他人の端末に自分のIDでログインして使うような子がいます  
どうすればよいのでしょうか？

A

- ①低学年は時間はかかりますが、繰り返しやれば慣れていきます。StuDXの事例にあるように、キーボードのどこを入力すればよいかを手助けするプリントがあると有効だと思います。
- ②パスワードを他人に教えてはいけなと指導を徹底する。初期パスワードを使い続けるのではなく、自分で安全なパスワードをつくり、管理していく指導も大切だと感じています。



Q 「最初の指導を少人数で」について、自分にできるか心配です。どうすればいいですか？

A

- ・ICT支援員がいる場合は、遠慮なくサポートを依頼しています。
- ・休み時間など授業時間以外、持ち帰っての活用を行うことで授業で覚えたことを試したり、自由に使うを通して、子供たちが自然に基礎スキルを伸ばしている様子がありました。



Q 「撮影して紹介してみよう」について、実際にはどのような指導が必要で、どのような場面で使うことができるのでしょうか？

A

カメラは使う機会が多いです。きれいに撮るための基礎スキル(逆光、グリッドラインの有効化、ズームをすると手振れしやすいから、きれいに撮りたいときは被写体に近づくこと、など)は初期段階で指導しておくといいです。

オフラインでも使えるので、持ち帰りの初期段階で自分の宝物を紹介しよう」「音読の様子を動画でとってこよう」「(調理実習ができなかったので)家庭でつくった料理を写真でとってこよう」などの課題で活用した教育実践がありました。




Q 端末のある学習環境づくりに関係しますが、教科書、ノート、資料集、PCと置くものが増えると、机の上が狭くなり、子供が授業中にPCを落としてしまうことがあったのですが、どうすればいいのでしょうか？


A

人の話を聞くとときは端末を閉じる、もしくは反対側に向けるなどの学習規律に関する指導も必要だと考えています。  
しかし、机が狭いことには変わりないので、広い天板への張替え、天板を拡張するアタッチメントの購入などを検討しています。






Q 「子どもたちとルールをつくる」にかかわって  
・フィルタリングがかからない海外のゲームやゲームカテゴリーに入らないサイトのミニゲームやScratch、YouTubeMusicなどの音楽、マンガの読み放題サービスなどを使っている子供がいるのですが、どうすればいいですか？




A

- ・同意書で大枠を示して、細かい扱い方については各クラスで話し合って決めています。
- ・自分でどうやって使っていきたいかをワークシートをもとに決める授業も有効です。




Q 長野県教育クラウドIDって何でしょうか？




A

長野県IDの命名規則は、小中高の学びを止めない工夫として作られました。現在長野県ICT教育推進センターHPで公開されています。私たちは、HPで発表される前から、独自でアカウントを用意していたので新入生から順次対応をすすめます。  
(注：クラウドは同一)




Q ローマ字でのタイピングスキルは得意な子供がいる反面、苦手な子供もいて個人差が大きく、課題があります。中学生でも、授業で入力のある場面があると作業が遅くて授業の進行が遅れてしまうのですがどうすればいいですか？




A

- ・休み時間の利用、持ち帰りの利用を許可したことで、検索やタイピング練習(キーボー島)を通して、スキルが上達していきました。
- ・学年や学校の取り組みとしてキーボード練習を位置付けたわけではないですが(ホームポジションの指導などをしたクラスもありました)、自然と力がつきました。スライドやドキュメントの利用が授業内で増え、タイピングする機会が増えたことも関係するかもしれません。
- ・ただし、自然に身につくタイピングスキルには限界があり、ホームポジションやタッチタイピングを指導することでより高度なスキルにつながると感じます。



Q 「個に応じた操作スキルの支援」が必要だと感じますが、どうすればいいですか？

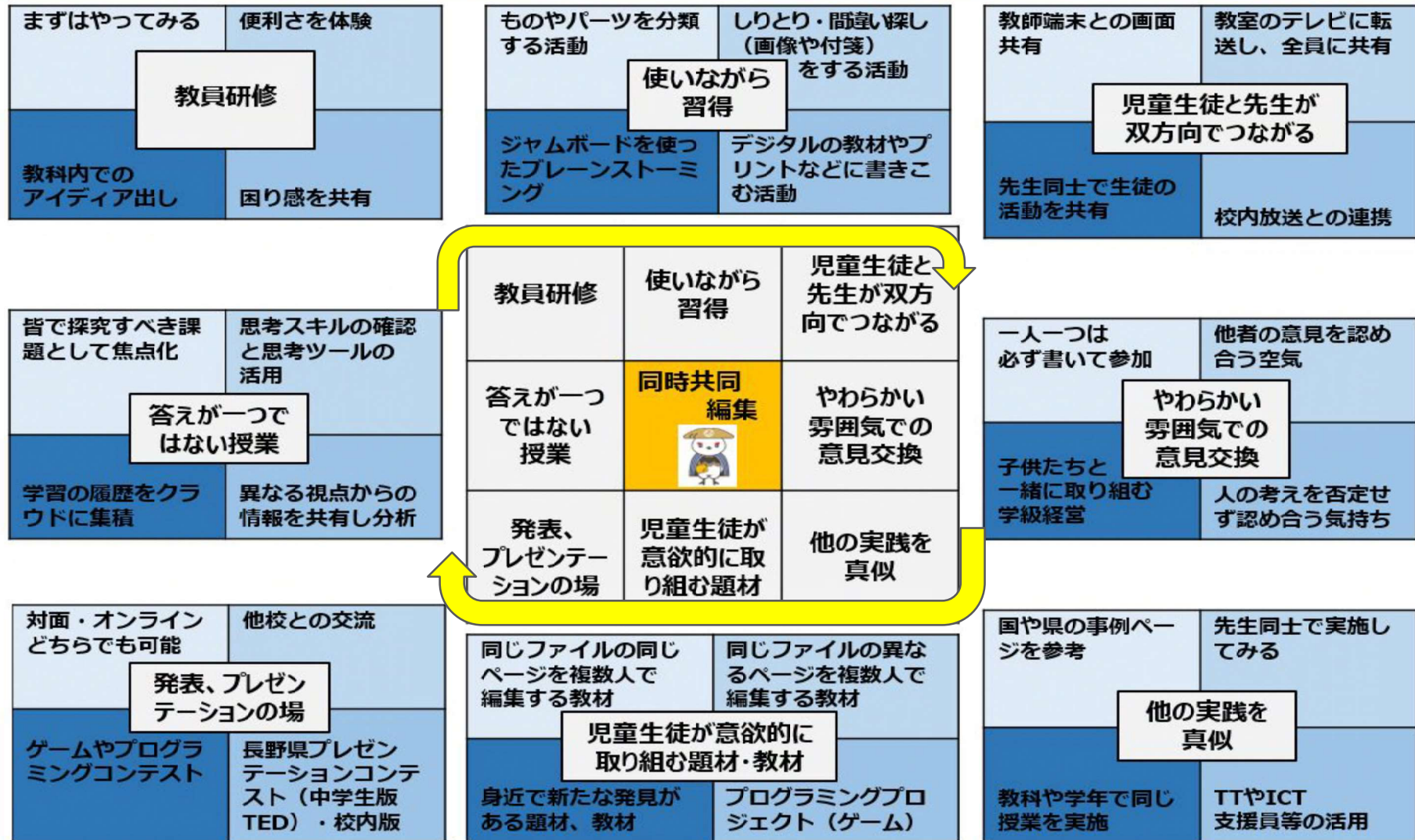


A

- ・わからない人は「先生を呼ぶ」のではなく、「周りの友達」に聞く
- ・わかる人は積極的に「助ける」
- ・できる人が代わって操作せず「口で教える」

などを、最初の指導や初めてアプリを使うときに、先生やICT支援員から子供たちに伝えています。

## 「深い学び」を実現するためのクラウドによる同時共同編集マンダラチャート（案）〈先生編〉



それぞれの要素について、詳細については、長野県1人1台端末導入ガイドラインに示してあります。ご参照ください。